

■■■ 福祉社会学会ニューズレター 第71号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.71

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第21回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について
(2月28日締切)
- 福祉社会学会
- 第21回大会 自由報告の募集について (4月30日申込締切予定)
- 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- 福祉社会学会・第21回大会の抄録集のホームページ掲載について
- 大学院生に対する学会大会発表支援について
- 第7回福祉社会学会賞(学術賞および奨励賞)候補の推薦のお願い
- 理事選挙について
- 理事会報告
- 新規会員の紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

■■■ 福祉社会学会・第21回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第21回大会は2023年7月1日(土)・2日(日)に同志社大学今出川校地にて対面方式での開催を予定しています。なお、今後の感染状況の変化によってはオンラインでの開催に切り替える可能性もありますので、あらかじめご留意ください。開催方法の最終的な決定は、3月中旬ごろに改めて告知させていただきます。

○大会のテーマセッションのテーマの募集について

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後1週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の3種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション
- (3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4)研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

(1)の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合には3月中旬にニューズレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは、応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2)は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書(公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの)と一緒に提出してください。

(3)は非会員を報告者に含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、その招聘に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・締切：2023年2月28日（火）
- ・申し込み先アドレス：welfaresociology10research★googlegroups.com←(★を@に変えてください)
- ・企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・テーマ（そのまま部会名となります）
- ・拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日過ぎても返信がない場合は、研究委員会の平野寛弥までご連絡ください（h.hirano★mejiro.ac.jp）←(★を@に変えてください)

■福祉社会学会・第21回大会 自由報告の募集について

本年7月1日（土）と2日（日）に開催予定の第21回大会の自由報告募集のお知らせです。

自由報告の申込と予稿集原稿の提出締切は、いずれも4月30日（日）の予定です。申込書と予稿集原稿の提出の締切が同一日に設定されていますので、くれぐれもご注意ください。なお、いずれもデータでの提出となります（郵送での提出は受け付けません）ので、あらかじめご了解ください。具体的な提出方法につきましては、3月に入りましたら改めてお知らせいたします。

自由報告の申し込みを検討される場合は、学会ニューズレターおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページにご注意いただき、提出方法や締切など、お見落としのないようお願いいたします。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

■現在非会員で大会報告をお考えの方に

次回の本学会への入会承認は7月の大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続によってご報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

- (1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込期限の4月30日（日）必着で福祉社会学会事務局（〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学産業社会学部 鎮目真人研究室）あてに入会申込書をご郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。
- (2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って4月30日（日）までに所定の方法でお済ませください。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。
- (3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。
- (4) 同様に予稿集原稿も、4月30日（日）までに所定の方法でご提出ください。

9月に締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には、7月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿をご希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

■福祉社会学会・第21回大会の抄録集のホームページ掲載について

第21回大会では、予稿集をHPにて掲載いたします。予稿集が出来上がりましたら、学会員にはメールでパスワードをお知らせします。テーマセッションと自由報告にご応募なされる場合は、予稿集がHPにアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、配布いたしません。

■大学院生に対する学会大会発表支援について

学会大会で報告する大学院生の支援を目的として、大会参加費を無料とします。大学院生が学会大会で筆頭報告者、もしくは、共同報告者となっている場合、当該報告者の大会参加費は徴収致しません。大学院生の皆様におかれましては、学会大会にふるってご報告ください。

■第7回福祉社会学会賞(学術賞および奨励賞)候補の推薦のお願い

昨年末のニューズレターでお伝えしましたが、学会賞選考委員会では、第7回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦を受け付けております。以下の要領に従ってご推薦ください。自薦、他薦を問いませんが、各会員が推薦できるのは各賞につき一点以内です。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。なお、選考の結果は2023年度の福祉社会学会総会にて発表予定です。

<受賞資格者および受賞対象>

学術賞：受賞資格者は「すべて」の会員。受賞の対象は「単著の著書」。

奨励賞：受賞資格者は原則として「修士課程入学後13年以内」もしくは「博士課程入学後11年以内」の会員（受賞対象の刊行日を満期とする）。受賞対象は「単著の著書」あるいは「本学会誌または他の学会誌等に掲載された査読付の論文」。

<受賞対象の刊行日>

2021年1月1日より2022年12月31日の2年間に刊行された会員の著書および学術論文。

<推薦受付期間>

2023年1月9日から2023年2月10日まで。

<推薦方法>

学会賞推薦ページ (<https://www.bunken.org/jwsa/recommend/> ユーザー名 jws-assoc/パスワード 111111) にログインして必要事項をご記入ください。なお、学術賞・奨励賞の有資格者であるかどうかについては、会員であるかどうかも含めて事務局で確認しますので、正確な情報がわからなくてもご推薦いただいてもかまいません。推薦方法等に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

■理事選挙について

2023年7月開催予定の大会総会にて第10期役員の任期が終了することに伴い、2月に理事選挙を実施します。学会事務局からお送りする選挙人名簿で資格等を御確認下さいますようお願いいたします。会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

■理事会報告

●福祉社会学会 2022年度 第2回理事会の議事録（一部省略）

2022年12月16日（金）、18時～20時05分、オンライン開催

出席者：井口高志、稲葉昭英、堅田香緒里、鎮目真人、白波瀬佐和子、須田木綿子、高野和良、寺田貴美代、畑本裕介、平岡公一、平野寛弥、森川美絵、米澤旦

●報告事項・審議事項

1. 研究委員会

・第21回大会のスケジュールと開催方式について確認したのち、シンポジウムとテーマセッションの登壇者と内容について報告がなされた。第21回大会では、大会参加費は事前徴収のみとするが、参加費の納入を早目に設定し、参加費の納入期間を従来よりも延ばす方向で検討する。

2. 大学院生の研究発表支援

・大学院生の学会大会発表支援を奨励するために、大会で報告(筆頭、共同とも)する大学院生の参加費を無料とする。

3. 編集委員会

・第20号の投稿論文、特集論文、書評対象書等、編集状況について報告がなされた。
・査読者が担当した論文の最終結果(掲載可否)を当該査読者に報告することとする。
・初回査読でA評価(掲載可)を下した査読者に対して、投稿者による修正内容を報告することとする。
・B評価(B:部分的な修正をすれば掲載可(再査読不要))が下された投稿論文に関する取扱い(掲載可否等)について、引き続き検討する。

4. 学会賞選考委員会

・選考スケジュールについて確認がなされた。

5. 20周年記念事業委員会

・『(仮)福祉社会学文献ガイド』の編集スケジュールについて確認がなされた。

6. 社会学系コンソーシアム

・社会学系コンソーシアムに顧問を新設すること、2023年1月28日に開催予定の社会学系コンソーシアム・日本学術会議による第15回シンポジウム(「ダイバーシティ推進と日本社会の<不平等>」)について報告。

7. 社会政策関連学会協議会

・2023年3月25日に開催されるシンポジウム(「社会政策としての住宅政策と居住福祉に関わる実践の関わりを問う—英・独・日の歴史から」)について報告。

8. 役員選挙

・選挙のスケジュールを確認し、選挙管理委員の候補者について議論がなされ、理事選出の選挙管理委員会委員として稲葉理事と須田理事に引き受けいただくことになった。また、一般会員から選出員について審議し、金子雅彦会員と菊地英明会員に委員をお願いすることを決定した。

9. 事務局からの報告事項と審議事項

- ・2名の新規会員を承認した。
 - ・学会大会時に開かれる総会での決定事項を通達するニューズレターは郵送せず、E-mail で送付することとする。
 - ・第22回大会を津田塾大学で開催することを検討する。
 - ・次回の理事会を2023年7月1日（土曜）の午前中に同志社大学で開催することとした。
- 最後に、平岡会長より閉会の挨拶がなされた。

■新規会員の紹介

理事会において以下の方の入会確認がなされました。（Web版では略）

■事務局からのお知らせとお願い

ご所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係(maf-ws★mynavi.jp ←★を@に変えてください)までお知らせ下さい。

また、研究会情報は研究委員会：kaorikatada★hosei.ac.jp←(★を@に変えてください)までお寄せください。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局